

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項		警察安全相談員設置費						予算主管課		広報県民課		
	事 業 概 要		県民からの要望や相談に的確に対応するため、警察本部及び相談件数の多い警察署に警察安全相談員を配置する。						始期		2001		
									終期				
	K P I	警察安全相談対応率											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%		
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	27440 千円	最終現計 予算額	32696 千円	最終現計 予算額	36600 千円	最終現計 予算額	千円		
				決算額	25976 千円	決算額	29918 千円	決算額	32646 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円						
					不用額	3954 千円	不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因										
			総括										
見直し方向性		維持	本事業は、警察安全相談員の設置に要する経費であり、警察に寄せられる多数の各種相談に適切に対応し、安全で安心なまちづくりを推進するために必要であるため、今後も継続する。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

	事 項	スクールサポーター設置費						予算主管課	人身安全対策・少年課		
	事 業 概 要	少年の非行防止及び立ち直り支援、学校等における児童生徒の安全確保対策、地域安全情報の把握と提供等を行うため、警察本部及び警察署にスクールサポーターを配置する。						始期	2012		
								終期			
	K P I	実施学校の教員による評価（アンケート）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	60 %	目標値	70 %	目標値	70 %	目標値	70 %
		実績値	%	実績値	71 %	実績値	77.3 %	実績値	63 %	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	118.3 %	達成率	110.4 %	達成率	90 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	12703 千円	最終現計 予算額	15017 千円	最終現計 予算額	16674 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	11914 千円	決算額	13472 千円	決算額	14754 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円				
						不用額	1920 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因 経験豊富なスクールサポーターを継続採用しているため、内容が画一化傾向になっていたり、年齢による影響により、アンケート結果が低調になったものと考えられる。 また、同一内容のアンケートを3年連続で実施していることにより、回答者の意見がより率直に具体化された結果とも考えられる。									
		総括									
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPI実績は目標値をわずかに下回ったものの、アンケート結果から問題点が明らかとなったことから、令和8年度以降も学校等のニーズを踏まえ、訓練・講話内容を修正し、研修体制を充実させることにより、成果の向上が見込まれることから、事業内容の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	交番相談員設置費								予算主管課	地域課
	事 業 概 要	交番勤務員の不在時における各種届出や相談業務等に常時対応するため、都市部の主要交番に交番相談員を配置する。								始期	1994
										終期	
	K P I	交番相談対応率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	84570 千円	最終現計 予算額	100612 千円	最終現計 予算額	111530 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	83542 千円	決算額	98965 千円	決算額	110020 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
					不用額	1510 千円	不用額	千円			
	7 年 度	要因分析	要因								
総括											
見直し方向性		維持	令和7年度のKPIの実績は想定通りの成果が出ていることから、令和8年度以降の執行方法や予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	駐在所等家族報償費								予算主管課		地域課			
	事 業 概 要	駐在所に勤務する警察官と同居している家族で、警察業務を援助した者に対して報償費を支給する。								始期		1959			
										終期					
	K P I	駐在所家族在宅日数													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	11520 日		目標値	11520 日		目標値	11520 日				
		実績値	11520 日		実績値	10620 日		実績値	8299 日		実績値	11520 日			
		実績値	11520 日		実績値	10620 日		実績値	8299 日		実績値	11520 日			
		実績値	11520 日		実績値	10620 日		実績値	8299 日		実績値	11520 日			
		実績値	11520 日		実績値	10620 日		実績値	8299 日		実績値	11520 日			
		実績値	11520 日		実績値	10620 日		実績値	8299 日		実績値	11520 日			
	コ ス ト		達成率	92.2 %		達成率	72 %		達成率	100 %		達成率	%		
			最終現計 予算額	73944 千円		最終現計 予算額	66360 千円		最終現計 予算額	60672 千円		最終現計 予算額	千円		
決算額			51196 千円		決算額	43699 千円		決算額	36500 千円		決算額	千円			
							繰越額		千円		繰越額		千円		
								不用額		24172 千円		不用額		千円	
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	社会環境の変化により、駐在所等家族は減少傾向にあるものの、駐在所等家族が地域に貢献する度合いに変わりはないことから、安全対策を推進するなどし、警察官家族の駐在所居住における不安の払拭を図り、新規掘り起しを行うことで、更なる成果の向上につながることからこのまま継続する。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	暴力団対策アドバイザー設置費								予算主管課		組織犯罪対策課			
	事 業 概 要	暴力団との離脱交渉等の援助や暴力的不法行為による被害回復援助等を行うため、警察本部に暴力団対策アドバイザーを配置する。								始期		1996			
										終期					
	K P I	暴力団関係相談対応率													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %				
		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%			
		ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	4804 千円		最終現計 予算額	5495 千円		最終現計 予算額	5594 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	4712 千円		決算額	4851 千円		決算額	5400 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
							不用額	194 千円		不用額	千円				
	7 年 度	要因分析	要因												
			総括												
		見直し方向性	維持	適切な暴力団関係相談の対応により、暴力団勢力が弱体化し、暴力団関係相談が減少していくことは、被害者の減少により刑法犯認知件数の減少に寄与することから、令和8年度の執行方法や令和9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

K P I	事 項	犯罪被害者対策費							予算主管課		広報県民課				
	事 業 概 要	犯罪被害者等の精神的、経済的な負担の軽減や安全確保のため、被害者のニーズに対応した総合的な犯罪被害者支援活動を推進する。							始期		1997				
									終期						
	適正対応率（ケースに応じて適切に実施した割合）														
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
	R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %					
	実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%				
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%				
	コ ス ト			最終現計 予算額	1197 千円		最終現計 予算額	1192 千円		最終現計 予算額	1206 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	623 千円		決算額	644 千円		決算額	683 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	523 千円		不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	適切かつ効果的な被害者支援対策を継続的に実施するためには、本事業は必要不可欠であり、現状の対応により、KPIの達成が見込まれることから、令和8年度以降の見直しについては、検討していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	車両整備費							予算主管課		警務課		
	事 業 概 要	警察車両の減耗更新を行う。							始期		1959		
									終期				
	K P I	車両更新整備進捗率											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%		
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	47292 千円	最終現計 予算額	24435 千円	最終現計 予算額	24492 千円	最終現計 予算額	千円		
				決算額	46951 千円	決算額	24079 千円	決算額	23498 千円	決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円			
						不用額	994 千円		不用額	千円			
	7 年 度	要因分析	要因										
			総括										
		見直し方向性	維持	警察活動の機動力確保のためには、老朽車両の減耗整備は必要不可欠であることから、令和8年度以降の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	警察活動費（補助）								予算主管課		会計課(予算担当)			
	事 業 概 要	犯罪捜査、防犯活動、交通取締り等を行う。								始期		1954			
										終期					
	K P I	警察活動支障件数													
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件	
		実績値	件	実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件	
		ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	718193 千円		最終現計 予算額	715395 千円		最終現計 予算額	709100 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	587910 千円		決算額	598300 千円		決算額	666720 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
	不用額									42380 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPI目標は達成できている上、本事業は、警察活動を円滑に推進し、県民が安全安心に暮らせる生活環境を確保するために必要不可欠な事業であることから、令和8年度以降についても見直しについては検討していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	県防犯協会補助金								予算主管課	生活安全企画課
	事 業 概 要	効果的な防犯活動を推進するとともに、犯罪や非行のない明るく住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とする団体に対し、公益目的事業に係る経費を補助する。								始期	1964
										終期	
	K P I	刑法犯認知件数のうち自転車盗認知件数が占める割合									
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	14.7 %	目標値	14.7 %	目標値	14.7 %	目標値	14.7 %
		実績値	14.7 %	実績値	15.3 %	実績値	16.9 %	実績値	18.3 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	96.1 %	達成率	87 %	達成率	80.3 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	587 千円	最終現計 予算額	587 千円	最終現計 予算額	587 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			587 千円	決算額	587 千円	決算額	587 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 自転車の盗難被害防止及び県民財産保護並びに放置自転車の迅速な処理を行うことを目的に自転車防犯登録を実施し、盗難被害防止等に努めたが、人流の増加による影響等もあり、刑法犯認知件数のうち自転車盗認知件数が占める割合も増加したものと推認される。	
		総括	
	見直し方向性	維持	令和 7 年度は前年度と比較して自転車盗認知件数が占める割合が増加したものの、令和 8 年度以降も引き続き自転車防犯登録を実施していくことで、自転車盗認知件数の減少に寄与することとなり、KPIの目標達成に繋がると考えられることから、このまま継続とする。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	闇バイト強盗被害防止等広報強化事業費							予算主管課	生活安全企画課	
	事 業 概 要	県民を闇バイト強盗の被害者にも加害者にもさせないため、闇バイト強盗に係る動画を 作成し、各種広報啓発活動を展開する。							始期	2025	
									終期	2025	
	K P I	闇バイト強盗関与数									
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	人	目標値	人	目標値	0 人	目標値	人
		実績値	人	実績値	人	実績値	人	実績値	0 人	実績値	人
		ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	3300 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			千円	決算額	千円	決算額	1089 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	2211 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因	
		総括 闇バイト広報用の2本の動画が製作できたことで、今後、サイネージやSNS等各種媒体を活用し、闇バイト被害加担について広報することが可能となった。 今後、若者を中心として闇バイト被害に加担しないよう更なる抑止対策を図るため、各種イベントや学校現場等において本動画を活用することで、被害防止を推進する。	
	見直し方向性		

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初

事 項	通信指令システム運用費										予算主管課	通信指令課						
事 業 概 要	年々増加し、広域化、スピード化する犯罪等の110番通報に迅速・的確に対応し、県民の安全で安心な暮らしを実現するため、通信指令システムの適正かつ円滑な運用管理を行う。										始期	1999						
											終期							
K P I	重大な障害により業務に支障が生じた件数																	
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度						
	R 4 年 度		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件		目標値	0 件					
	実績値	件	実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	0 件		実績値	件					
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%					
	コ ス ト		最終現計 予算額	116635 千円			最終現計 予算額	116572 千円			最終現計 予算額	116236 千円			最終現計 予算額	千円		
			決算額	115653 千円			決算額	115939 千円			決算額	115289 千円			決算額	千円		
						繰越額	千円			繰越額	千円							
						不用額	947 千円			不用額	千円							
7 年 度	要因分析		要因															
			総括															
	見直し方向性	維持	令和7年度も目標の達成に至っている上、本事業は、警察活動の要である初動警察活動を支える通信指令システムの運用に関するものであり、警察活動の推進に必要不可欠であるため、このまま継続とする。															

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初

事 項	番町・八坂地区風俗環境浄化等総合治安対策強化費										予算主管課	組織犯罪対策課			
事 業 概 要	四国随一の繁華街である番町・八坂地区において、体感治安の改善及び観光都市愛媛・松山のイメージアップを目指し、継続して風俗環境浄化等総合的治安対策の強化を図る。										始期	2024			
											終期	2026			
K P I	番町・八坂地区における刑法犯認知件数														
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	件		目標値	258 件		目標値	220 件		目標値	182 件		
	実績値	件		実績値	件		実績値	288 件		実績値	327 件		実績値	件	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	89.6 %		達成率	67.3 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	45960 千円		最終現計 予算額	20044 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	39989 千円		決算額	18506 千円		決算額	千円	
				繰越額	千円		繰越額	千円							
								不用額	1538 千円		不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因 インバウンド需要による人流の増変に加え、防犯カメラの整備が行き届いていないエリアでの乗り物盗被害の急増、夏場や年末といった人流の増加に伴う粗暴犯が前年と比較して増加したことが全体的な認知件数の増加となって表れたものと考えられる。											
		総括											
	見直し方向性	維持	令和7年度の実績値については、低調に終わったものの、令和6年度の実績等を踏まえると、刑法犯認知件数減少に向けたアプローチ自体は効果的なものであると認められる。 また、従来までの取り組みの内、特に、飲酒の機会の増加に伴う人出の見込まれるシーズンにおける粗暴犯対策や自転車盗の発生を抑制する活動を徹底することで、令和8年度の実績は上昇傾向に向かうものと考えられることから、事業内容自体の見直しについては想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初

事 項	警察活動機材整備強化費										予算主管課	科学捜査研究所
事 業 概 要	複雑多様化する各種犯罪等に対処するため、警察活動機材を整備し、適正な維持管理を行う。										始期	1960
											終期	
K P I	機材正常稼働率											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%		
	ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	13289 千円	最終現計 予算額	13713 千円	最終現計 予算額	14707 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	13019 千円	決算額	13507 千円	決算額	14565 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
								不用額	142 千円	不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	令和 8 年度も適正な執行に努め、今後も機材正常稼働率100%を目指すため、このまま事業を継続する。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初

事 項	航空機点検管理費										予算主管課	警備課						
事 業 概 要	警察用航空機の12か月点検及び800時間点検整備を行う。										始期	1974						
											終期							
K P I	出動が必要なときに出動できている割合（気象状況等により出動できない場合を除く。）																	
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度						
	R 4 年 度		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %		目標値	100 %					
	実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	100 %		実績値	%				
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%				
	コ ス ト			最終現計 予算額	335388 千円			最終現計 予算額	98294 千円			最終現計 予算額	137517 千円			最終現計 予算額	千円	
				決算額	332200 千円			決算額	97085 千円			決算額	136911 千円			決算額	千円	
						繰越額	千円			繰越額	千円							
						不用額	606 千円			不用額	千円							
7 年 度	要因分析	要因																
		総括																
	見直し方向性	維持	航空法の規定により、機種ごとの定められた整備要領（製造会社の整備手順）に従って点検整備を実施しなければ、ヘリコプターを運用できないため、継続して実施する。															

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初

事 項	警察用航空機操縦資格取得等訓練委託費										予算主管課	警備課	
事 業 概 要	欠員となっている航空操縦士について、令和7年度に採用予定の者に対して、県警ヘリ コプターを運用するのに必要な操縦資格を取得させる。										始期	2025	
											終期	2026	
K P I	資格取得訓練進捗率												
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値		目標値		目標値	100	目標値				
	実績値		実績値		実績値		実績値	100	実績値				
	ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%			
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	22580 千円	最終現計 予算額	千円			
			決算額	千円	決算額	千円	決算額	22310 千円	決算額	千円			
						繰越額	千円	繰越額	千円				
						不用額	270 千円	不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因											
		総括 業者との契約に基づいて、訓練要員を派遣し、資格取得のためのカリキュラムに基づいた飛行訓練を実施したことにより、 資格取得に必要な訓練を予定通り完了した。											
	見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初

事 項	全国植樹祭警衛準備費										予算主管課	警衛対策課
事 業 概 要	令和8年に開催予定の全国植樹祭に伴う大規模警備に向け、各種準備業務を計画的に推進する。										始期	2024
											終期	2026
K P I	警察職員に対する講義及び訓練進捗率											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	%	目標値	50 %	目標値	95 %	目標値	100 %		
	実績値	%	実績値	%	実績値	50 %	実績値	95 %	実績値	%		
	ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	14778 千円	最終現計 予算額	108481 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	千円	決算額	11330 千円	決算額	87206 千円	決算額	千円		
				繰越額	千円	繰越額	千円					
				不用額				21275 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPIの実績は想定通りの成果が出ており、令和8年度もKPIの目標は達成できると考えられるため、令和8年度の執行方法の見直しについては想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。